

経営計画 TOKYOink 2020

当社グループは2010年度を初年度とした9か年の長期経営ビジョンを策定し、その実行計画として3か年毎の中期経営計画に基づき、低成長時代に高収益をあげられるメーカーへの変革を目指してまいりましたが、環境変化等から来る様々な要因により計画に遅れが生じております。

そこで、当社の「ありたい姿」「あるべき姿」を改めて明確にし、高収益メーカーを目指すため、2016年度を初年度とした2020年度までの基本戦略と整備すべき基盤を定めた新たな経営計画【TOKYOink2020】を策定しました。

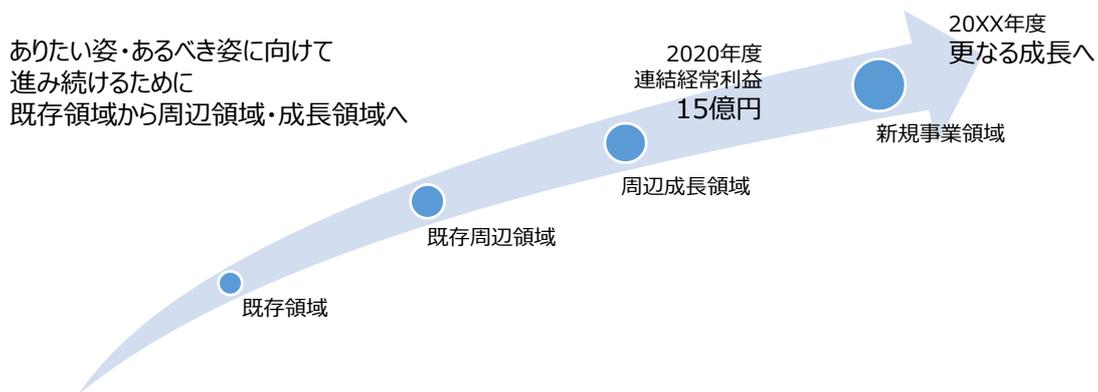
【TOKYOink2020】の骨子は、既存の事業領域において徹底的な競争力強化と顧客満足を実現することで、より強固な経営基盤を構築すると共に、周辺事業領域、更にはその先の領域へ段階的に事業を拡大することにより持続的な成長と高収益化を目指すものであります。

ありたい姿

暮らしを彩る、暮らしに役立つものづくりで、社会に貢献する

あるべき姿

色彩を軸に、市場が求める価値をお客様と共に創造、実現し続ける企業



経営計画 TOKYOink 2020

2020年度 連結経常利益15億円を足がかりに 継続的な高収益メーカーを目指す

経営戦略

事業戦略

- コア事業の更なる強化・拡大 … 基盤強化戦略
- コア事業周辺領域の事業拡大 … 成長戦略

技術戦略

- 素材を活かす要素技術・加工技術の拡充

財務戦略

- 株主価値の向上
- 事業戦略に応じた最適資本構成

人事戦略

- 人的資源の有効活用

基盤の整備

現場力の徹底強化

